



## 会長挨拶 新任 小林一雄（72年卒）

2019年度通信工学同窓会代議員会において、中西会長の後任という重責を担うことになりました小林一雄（72卒）です。

当会は創立者松前重義先生の思いの入った通信工学科の同窓会ということで極めて重要な存在と考えております。現在通信工学科は大学の学科再編成によってなくなっておりますが大学の歴史に大きな足跡を残しておりますし、卒業生の活躍は社会でも大きく評価されております。私が高校生の時、FM放送を聴き始めた折（当時はNHKとFM東海だけでした）東海大学と創立者松前重義先生の存在を知ることとなり強く関心を持ちました。また趣味でアマチュア無線をやっておりました事もあり、通信工学科への進学を決めました。在学中の1970年4月、FM東海から本放送のエフエム東京へと発展した事もあり放送関係への関心が強くなり、その方面への就職を希望するに至りました。しかし希望する会社からの採用試験通知が一向に来ないまま夏も過ぎました。そんな時に木村登先生のお勧めも頂き、卒業と同時に東海大学に奉職し5年前まで湘南校舎に勤務いたしておりました。大学での仕事を通じて色々な学科の先生方、学生の皆さんと知り合うことが出来ましたし、今もその多くの方々との交流が出来ますことは誠に貴重な経験が出来たと感じております。また現在東海大学同窓会ホームカミングデー実行委員も担当させて頂いており、多くの学部学科の卒業生の方々とは活動させて頂いております。これらの経験、活動を通じ通信工学同窓会の活動基盤を広げてまいりたいと考えております。

最後になりますが、お世話になりました東海大学、そして通信工学科への感謝の気持ちを込めまして微力ではありますが出来る限りの努力をさせて頂く所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。